

邑楽町告示第124号

平成17年第4回邑楽町議会定例会を次のとおり招集する。

平成17年12月8日

邑楽町長 久保田 文 芳

1. 期 日 平成17年12月12日

2. 場 所 邑 楽 町 役 場 議 場

○応招・不応招議員

○応招議員（19名）

1 番	後 藤 勝 子 議員	2 番	松 島 茂 喜 議員
3 番	加 藤 和 久 議員	5 番	小 倉 孝 夫 議員
6 番	金 子 正 一 議員	7 番	小 島 幸 典 議員
8 番	立 沢 稔 夫 議員	9 番	小 倉 修 議員
1 0 番	横 山 英 雄 議員	1 1 番	本 間 恵 治 議員
1 2 番	細 谷 博 之 議員	1 3 番	相 場 一 夫 議員
1 4 番	中 川 健 治 議員	1 5 番	桜 井 征 男 議員
1 6 番	青 木 久 議員	1 7 番	千金楽 幸 作 議員
1 8 番	松 原 市 祐 議員	1 9 番	新 島 正 議員
2 0 番	石 井 悦 雄 議員		

○不応招議員（1名）

2 1 番	大 野 栄 議員
-------	----------

平成17年第4回邑楽町議会定例会議事日程第1号

平成17年12月12日（月曜日） 午前10時開会

邑楽町議会議場

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 議案第84号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
- 第 4 議案第85号 太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について
- 第 5 議案第86号 邑楽町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例
- 第 6 議案第87号 邑楽町税条例の一部を改正する条例
- 第 7 議案第88号 邑楽町同和対策審議会設置条例を廃止する条例
- 第 8 議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例
- 第 9 議案第90号 邑楽町福祉作業所の設置及び管理に関する条例
- 第10 議案第91号 邑楽町高齢者活力センターの設置及び管理に関する条例
- 第11 議案第92号 平成17年度邑楽町一般会計補正予算
- 第12 議案第93号 平成17年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算
- 第13 議案第94号 平成17年度邑楽町老人保健特別会計補正予算
- 第14 議案第95号 平成17年度邑楽町介護保険特別会計補正予算
- 第15 議案第96号 平成17年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算
- 第16 議案第97号 平成17年度邑楽町水道事業会計補正予算

○出席議員（１９名）

１番	後 藤 勝 子 議員	２番	松 島 茂 喜 議員
３番	加 藤 和 久 議員	５番	小 倉 孝 夫 議員
６番	金 子 正 一 議員	７番	小 島 幸 典 議員
８番	立 沢 稔 夫 議員	９番	小 倉 修 議員
１０番	横 山 英 雄 議員	１１番	本 間 恵 治 議員
１２番	細 谷 博 之 議員	１３番	相 場 一 夫 議員
１４番	中 川 健 治 議員	１５番	桜 井 征 男 議員
１６番	青 木 久 議員	１７番	千金楽 幸 作 議員
１８番	松 原 市 祐 議員	１９番	新 島 正 議員
２０番	石 井 悦 雄 議員		

○欠席議員（１名）

２１番	大 野 栄 議員
-----	----------

○地方自治法第１２１条により説明のため出席した者の職氏名

久 保 田 文 芳	町 長
石 井 征 彦	助 役
川 田 定 昭	教 育 長
小 林 徳 義	総 務 課 長
石 井 節 雄	企 画 課 長
神 谷 長 平	庁 舎 建 設 室 長
小 島 哲 幸	税 務 課 長
宮 沢 孝 男	産 業 振 興 課 長 兼 農 業 委 員 会 長 事 務 局 長
並 木 邦 夫	生 活 環 境 課 長
増 尾 隆 男	保 険 年 金 課 長
横 山 正 行	土 木 課 長
中 村 紀 雄	都 市 計 画 課 長
岡 村 静 代	住 民 課 長
諸 井 政 行	福 祉 課 長
金 子 重 雄	会 計 課 長
石 井 貞 男	水 道 課 長

遠	藤	幸	夫	学 校 教 育 課 長
堀	井		隆	生 涯 学 習 課 長

---

○職務のため議場に出席した者の職氏名

田	口	茂	雄	事 務 局 長
飯	塚	勝	一	書 記

---

◎開会及び開議の宣告

○中川健治議長 ただいまから平成17年第4回邑楽町議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

〔午前10時04分 開議〕

---

◎諸般の報告

○中川健治議長 日程に入る前に諸般の報告をします。

今期定例会に説明員として出席通知がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

次に、監査委員から監査結果の報告がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

次に、今期定例会において本日までに受理した請願、陳情は、お手元に配付の請願陳情文書表のとおり、所管の常任委員会に付託します。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

---

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○中川健治議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第117条の規定により、議長において金子正一議員、小島幸典議員を指名します。

---

◎日程第2 会期の決定

○中川健治議長 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。今期定例会の会期は、本日から16日までの5日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 異議なしと認めます。

よって、会期は本日から16日までの5日間と決定しました。

---

◎日程第3 議案第84号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議  
について

○中川健治議長 日程第3、議案第84号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第84号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について、提案理由の説明を申し上げます。

群馬県市町村総合事務組合の組織団体である鬼石町が廃され、藤岡市に編入されること、倉渕村、箕郷町、群馬町及び新町が廃され、高崎市に編入されること、渋川市、北橘村、赤城村、子持村、小野上村及び伊香保町が廃され、その区域をもって渋川市が設置されること、安中市及び松井田町が廃され、その区域をもって安中市が設置されること、勢多郡東村、笠懸町及び大間々町が廃され、その区域をもってみどり市が設置されること、富岡市及び妙義町が廃され、その区域をもって富岡市が設置されること、吾妻郡東村及び吾妻町が廃され、その区域をもって東吾妻町が設置されること等に伴い規約の一部変更する必要性が生じたため、市町村の合併の特例に関する法律第9条の2第1項の規定により、組合組織団体間において協議の上定めることについて、同条第2項の規定に基づき議会の議決を求めるものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第84号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第84号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第4 議案第85号 太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議  
について

○中川健治議長 日程第4、議案第85号 太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第85号 太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について、提案理由の説明を申し上げます。

太田市外三町広域清掃組合の構成市町であった太田市、尾島町及び新田町と新田郡藪塚本町が平成17年3月28日付で廃置分合となり組織団体の数が減少したため、経費の負担割合の一部に不均衡が生じ、その調整が必要となったことから、構成市町村間で協議を重ねた結果、結論に至りましたので、所要の事務手続を行いたく、地方自治法第290条の規定によりご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第85号 太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第85号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第5 議案第86号 邑楽町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

○中川健治議長 日程第5、議案第86号 邑楽町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第86号 邑楽町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例について、提案理由の説明を申し上げます。

地方自治法及び地方自治法施行令の改正に伴い邑楽町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例を制定いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。



なお、詳細につきましては総務課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 小林総務課長。

○小林徳義総務課長 補足説明申し上げます。

これまで電気、ガス、水の供給もしくは電気通信役務の提供を受ける契約、または不動産を借りる契約に限定されていた長期継続契約を締結ができる契約に翌年度以降にわたって物品を借り入れ、または役務の提供を受ける契約、その契約の性質上、翌年度以降にわたり契約を締結しなければ当該契約に係る事務の取り扱いに支障を及ぼすようなもののうち条例で定めるものというのが加えられましたので、それに伴っての整備でございます。

お手元の条例でいきますと、第2条において1号、2号、3号ということで、それぞれの契約事務内容が列記されております。

なお、この条例の施行につきましては、附則にありますように、公布の日から施行するというところでございます。

以上です。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第86号 邑楽町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第86号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第6 議案第87号 邑楽町税条例の一部を改正する条例

○中川健治議長 日程第6、議案第87号 邑楽町税条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第87号 呂楽町税条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

地方税法が改正されたことに伴い、呂楽町税条例の一部を改正する必要性が生じたので、ご提案申し上げる次第であります。

なお、詳細につきましては、税務課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 小島税務課長。

○小島哲幸税務課長 議案第87号 呂楽町税条例の一部を改正する条例につきまして、補足説明を申し上げます。

呂楽町税条例の一部を次のように改正する。

まず、第24条の改正の部分でございますが、この部分につきましては、個人の町民税の非課税の範囲を定めてある条文でございます。この人的非課税範囲の中から年齢65歳以上の者を削るという内容でございます。したがって、合計所得金額が125万円以下の65歳以上の方でも18年度以降につきましては一定の税負担がかかってくるというような改正の内容でございます。ただし、この部分につきましては、経過措置がございますので、附則の方で説明をさせていただきたいと思っております。

続きまして、第36条の改正でございます。この部分は、新たに加わったのですが、給与支払い報告書の提出義務が新たに加わりました。この内容につきましては、年度途中で退職した者について、退職した日の翌年の1月31日までに住所を有する市町村にその提出を義務づけたために条項が項ずれを起こしておりますので、36条を改正するという内容でございます。

次に、附則の19条の改正の部分でございます。このページからずっと次のページまで長い条文があるのですが、この部分については、次のページになりますが、第19条の2、これが特定管理株式が価値を失った場合の株式等に係る譲渡所得等の課税の特例、この部分が新たに追加されたものでございます。現行では株式会社の譲渡によって損失が出た場合につきましては、損金を3年間、繰り越し控除できる仕組みになっておりますけれども、改正では譲渡ではなくて、例えば会社の倒産みたいな形で、要するに株価、株式が無価値、紙切れみたいな形になった場合でも、それを譲渡損失とみなして特例を設けたということでございます。したがって、新たに項が加わりましたので、附則の第19条は、長い文章によって改正の必要性が生じたという内容でございます。

最後の方になりますが、附則の第20条の改正の部分でございますが、この部分につきましては、先ほど申し上げました附則19条の2が追加されたことによる項ですとか字句の訂正でございます。

続きまして、附則でございます。

(施行期日)

第1条 この条例は、平成18年1月1日から施行します。

(町民税に関する経過措置)

第2条 別段の定めがあるものを除き、改正後の邑楽町条例の規定中個人の町民税に関する部分は、平成18年度以後の年度分の個人の町民税について適用し、平成17年度分までの個人の町民税につきましては、なお従前の例によります。

第2項 新条例第24条第1項第2号の規定は、平成18年以後の年度分の個人の町民税について適用し、平成17年度分までの個人の町民税につきましては、第8項に定めるものを除き、なお従前の例によります。

その後、第3項、第4項、第5項、第6項につきましては、先ほど申し上げましたとおり、人的非課税範囲の中から65歳以上の者が削られるというふうなお話をしましたが、附則の中で、第3項につきましては平成18年度分の町民税の均等割、それから4項につきましては平成18年度分の個人の町民税の所得割、それから5項につきましては平成19年度分の個人の町民税の均等割、6項につきましては平成19年度分の個人の町民税の所得割でございます。

3項、4項につきましては、3分の2を控除するという形になっておりますので、18年度の課税につきましては、したがって、3分の1ということになります。均等割で申し上げますと、今3,000円でございますので、平成18年度につきましては3分の1課税ですので、均等割は町が1,000円、県が300円という形になります。5項、6項につきましては、平成19年度分の課税の特例でございますが、この部分については3分の1を控除することでございますので、3分の2という課税になります。したがって、均等割につきましては町が2,000円、県が600円という課税になるというふうになります。

次に、第7項でございますが、新条例附則第19条の2の規定です。特定管理株式が価値を失った場合のということで、新たに設けたという部分でございますが、これにつきましては17年の4月1日以後にその事実が発生する場合について適用するという内容でございます。

次に、第8項、第9項なのですけれども、この部分につきましては、先ほど改正された部分からその規定をする日等を定めたものでございます。

以上、雑駁ですが、補足説明とさせていただきます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第87号 邑楽町税条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第87号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第7 議案第88号 邑楽町同和対策審議会設置条例を廃止する条例

○中川健治議長 日程第7、議案第88号 邑楽町同和対策審議会設置条例を廃止する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第88号 邑楽町同和対策審議会設置条例を廃止する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

同和対策事業特別措置法の円滑な推進を図るため、昭和49年に町長の諮問機関として邑楽町同和対策審議会を設置してまいりましたが、平成14年3月末日をもってこの特別措置法は失効いたしました。これにより同和問題における特別対策は、人権問題の一つとして一般施策に切りかわったことを踏まえ、邑楽町同和対策審議会設置条例を廃止いたしたくご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第88号 邑楽町同和対策審議会設置条例を廃止する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第88号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第8 議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例

○中川健治議長 日程第8、議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例を議題と

します。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

地方自治法の改正に伴い、平成18年4月1日から邑楽町福祉センター寿荘を指定管理者制度に移行するため、指定管理者に係る条文を加え、規定を整備する必要がありますので、条例の全部を改正いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

なお、詳細につきましては、福祉課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 諸井福祉課長。

○諸井政行福祉課長 議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例につきまして、補足説明を申し上げます。

条文は、第1条から第17条までで構成されております。第1条は、条例の趣旨について定めたものでございます。

第2条は、設置について定めたものでございます。

第3条は、福祉センターの事業について定めたものでございます。

第4条は、福祉センターの管理を地方自治法第244条の2第3項の規定により指定管理者に行わせる旨を定めたものでございます。

第5条は、指定管理者が行う業務を定めたものでございます。

第6条は、福祉センターの開館時間について定めたものでございます。

第7条は、福祉センターの休館日について定めたものでございます。

第8条は、福祉センターを使用することができる者を定めたものでございます。

第9条は、福祉センターの使用の許可についての規定でございますが、指定管理者が許可する旨を定めたものでございます。

第10条は、福祉センターの使用の制限について定めたものでございます。

第11条は、福祉センターの使用許可の取り消し等について定めたものでございます。

第12条は、福祉センターの使用料について定めたものでございます。別表第1に掲げておりますが、現在と同じ取り扱いでございます。

第13条は、使用料の減免について定めたものでございます。

第14条は、福祉センターの設置目的以外の許可及び使用料についての規定でございます。地方自治法の規定により指定管理者には目的外使用の許可及び使用料の徴収の権限が除かれておりますので、町長が許可する旨を定めたものでございます。各種団体の総会等で使用する場合などが該当に

なるものですが、使用料につきましては、別表第2に掲げておりますが、現在の使用状況に合わせて1人当たり100円と定めたものでございます。

第15条は、施設、設備及び備品を破損、または滅失した者の損害賠償について定めたものでございます。

第16条は、指定管理者の指定の手續等については、邑楽町公の施設の係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の規定による旨を定めたものでございます。

第17条は、条例に規定された以外の取り扱いについて、規則等への委任を定めたものでございます。

附則の第1項は、施行期日に関する規定でございますが、施行期日は平成18年4月1日から施行する。

附則の第2項は、経過措置に関する規定でございます。この条例の施行前にされた処分、手續、その他の行為は、改正後の条例によりされた行為とみなすというものでございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

小島議員。

○7番 小島幸典議員 議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例に対して、条文で書いてあるだけの中での質疑をさせていただきます。

まず、「第7条 福祉センターの休館日は、次のとおりとする」という中で、日曜日が休館になっているのですけれども、この辺の日曜日の取り扱いに対して、厚生・環境委員会で決定されたことで上程されてきたと思うのです。そういう中で、どんなふうな討議、この日曜日の休館に対してどんなふうな討議、または決定とか意見とかありましたら、こういう意見がありましたよ、こういう討議がありましたというような意見があればということで質問します。なければならないで、それでいいのです。

それと、もう一つ、第8条、これは福祉センターを使用する権利というのですか、この8条の中にうたわれている「福祉センターを使用することができる者は、町内に住所を有する60歳以上の者」とされてありまして、「ただし、町長が特に必要と認めるときは、この限りではない」と、こういう中で一番最後の使用料の中で、8条の前文では60歳以上と、なおちゃんと明記してありまして、それで今度は資料の方は60歳未満の者は200円と、これは一々60歳以下の人が使用する場合は町長の許可を得るのですか。こういう文面であると、この条例案、非常にまだるっこしいというか、そういうことでその辺の明快な説明をお願いします。

○中川健治議長 諸井福祉課長。

○諸井政行福祉課長 お答え申し上げます。

まず、1点目のご質問でございますが、邑楽町福祉センターの施設管理につきまして、平成18年

4月1日から指定管理者制度に移行するために関係施設の条例に指定管理者の指定の手続、指定管理者が行う基準及び業務の範囲、その他必要な事項を条文に加える条例を厚生・環境常任委員会にご提案をさせていただき、条文1条ずつご説明申し上げ、またその中で第7条の休館日につきましても現在第2、第4土曜日が休館日でございますけれども、指定管理者制度に移行するに当たり土曜日を開館する旨も説明させていただき、慎重に審議され、ご理解を得た上で上程されたものでございます。

2点目のご質問でございますが、第8条の福祉センターを使用することができる者の中で60歳以上の者と原則としています。ただし、町長が特に必要と認めるときはこの限りではない。福祉センターを60歳未満の方が使用する場合にはつきまして説明をさせていただきます。60歳以上の使用者の介添え、また付き添い等でいらっしゃる場合、団体等で使用する場合に団体の中に60歳未満の方がいらっしゃる場合、また平成12年から両毛広域の市町村圏の福祉センターの相互利用を行っておりますけれども、それぞれの福祉センターにおきましても60歳以上、60歳未満の規定がございますので、整合性を合わせたものでございます。

また、今後町長が特に必要と認めるときはこの限りでない、この条文につきましては、今後指定管理者の指定の議決を経た後、指定管理者との協定の中で、その部分につきましても盛り込んでいきたいと、そういうふうに考えております。

以上でございます。

○中川健治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

小島議員。

○7番 小島幸典議員 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例の原案に対して、私は反対の討論をいたします。

その理由は、この指定管理の設置の期限、これは来年の9月だと思います。そういう中で今話された日曜日の問題、それとこういう文面のもう少し整理、わかりやすい条例にするのに、もっと厚生・環境委員会、こういう立派な人がいっぱいいるので、この辺でちゃんと煮詰めて、臨時会でも何でもいいのです、何がなんでもきょうの議会でこれを可決しなくても。ということは、あしたの一般質問で話しますけれども、いろいろな問題が、お金だけ出して口は出さないと、確かにこれは立派な文面なのですけれども。私心配しているのは、管理者がもう町長に一々具申しないと許可にならないのです。そういう条例の不備があるのではないかと、そういうことでこの原案には現時点では反対いたします。

以上です。

○中川健治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第89号 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手多数〕

○中川健治議長 挙手多数。

よって、議案第89号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第9 議案第90号 邑楽町福祉作業所の設置及び管理に関する条例

○中川健治議長 日程第9、議案第90号 邑楽町福祉作業所の設置及び管理に関する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第90号 邑楽町福祉作業所の設置及び管理に関する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

地方自治法の改正に伴い、平成18年4月1日から邑楽町福祉作業所を指定管理者制度に移行するため、指定管理者に関する条文を加え、規定を整備する必要がありますので、条例の全部を改正いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

なお、詳細につきましては、福祉課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 諸井福祉課長。

○諸井政行福祉課長 議案第90号 邑楽町福祉作業所の設置及び管理に関する条例につきまして、補足説明を申し上げます。

条文は、第1条から第13条までで構成されております。第1条は、条例の趣旨について定めたものでございます。

第2条は、設置について定めたものでございます。

第3条は、福祉作業所の事業について定めたものでございます。

第4条は、福祉作業所の管理を地方自治法第244条の2第3項の規定により指定管理者に行わせる旨を定めたものでございます。

第5条は、指定管理者が行う業務を定めたものでございます。

第6条は、福祉作業所の開所時間について定めたものでございます。

第7条は、福祉作業所の休所日について定めたものでございます。



第8条は、福祉作業所に入所することができる者を定めたものでございます。

第9条は、福祉作業所の入所の決定についての規定でございます。福祉作業所は、県の知的障害児（者）総合福祉推進事業実施要綱に基づき実施をしておりますが、その要綱の中で、入所の決定については市町村長が適当と認めた障害者とするという規定がございますので、入所の決定につきましては、指定管理者ではなく町長が決定する旨を定めたものでございます。

第10条は、福祉作業所の入所決定の取り消しについて定めたものでございます。

第11条は、施設、設備及び備品を破損、または滅失したものの損害賠償についての規定でございます。

第12条は、指定管理者の指定の手続等については、邑楽町公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の規定による旨を定めたものでございます。

第13条は、条例に規定された以外の取り扱いについて、規則等への委任を定めたものでございます。

附則の第1項は、施行期日に関する規定でございますが、施行期日は平成18年4月1日から施行するとしております。

附則の第2項は、経過措置に関する規定でございます。この条例の施行前にされた処分、手続、その他の行為は、改正後の条例によりされた行為とみなすというものでございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第90号 邑楽町福祉作業所の設置及び管理に関する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第90号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第10 議案第91号 邑楽町高齢者活力センターの設置及び管理に関する条例

○中川健治議長 日程第10、議案第91号 邑楽町高齢者活力センターの設置及び管理に関する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第91号 邑楽町高齢者活力センターの設置及び管理に関する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

地方自治法の改正に伴い、平成18年4月1日から邑楽町高齢者活力センターを指定管理者制度に移行するため、条例を制定いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

なお、詳細につきましては、福祉課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 諸井福祉課長。

○諸井政行福祉課長 議案第91号 邑楽町高齢者活力センターの設置及び管理に関する条例につきまして、補足説明を申し上げます。

条文は、第1条から第13条までで構成されております。第1条は、条例の趣旨について定めたものでございます。

第2条は、設置について定めたものでございます。

第3条は、活力センターの事業について定めたものでございます。

第4条は、活力センターの管理を地方自治法第244条の2第3項の規定により指定管理者に行わせる旨を定めたものでございます。

第5条は、指定管理者が行う業務を定めたものでございます。

第6条は、活力センターの開所時間について定めたものでございます。

第7条は、活力センターの休所日について定めたものでございます。

第8条は、活力センターを利用することができる者を定めたものでございます。

第9条は、活力センターの利用の許可についての規定でございますが、指定管理者が許可する旨を定めたものでございます。

第10条は、活力センターの利用許可の取り消しについて定めたものでございます。

第11条は、施設、設備及び備品を破損、または滅失したものの損害賠償について定めたものでございます。

第12条は、指定管理者の指定の手續等については、邑楽町公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の規定による旨を定めたものでございます。

第13条は、条例に規定された以外の取り扱いについて、規則等への委任を定めたものでございます。

附則の第1項は、施行期日に関する規定でございます。施行期日は、平成18年4月1日から施行

するとしております。

附則の第2項は、経過措置に関する規定でございます。この条例の施行前にされた処分、手続、その他の行為は、この条例によりされた行為とみなすというものでございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第91号 邑楽町高齢者活力センターの設置及び管理に関する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第91号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第11 議案第92号 平成17年度邑楽町一般会計補正予算

○中川健治議長 日程第11、議案第92号 平成17年度邑楽町一般会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第92号 平成17年度邑楽町一般会計補正予算（第7号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,313万8,000円を追加し、予算の総額を82億6,511万3,000円といたしたい次第であります。

歳入の主なものは、町税の固定資産税で3,500万円、県支出金1,116万円、基金繰入金933万5,000円をそれぞれ増額し、国庫支出金1,755万7,000円を減額するものであります。

歳出の主なものは、衛生費の保健衛生費、土木費の道路橋梁費及び教育費を増額するとともに、総務費の保健センター建設事業費、民生費の児童福祉費及び衛生費の清掃費等を減額するものであります。

なお、詳細につきましては、総務課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 小林総務課長。

○小林徳義総務課長 補足説明させていただきます。お手元にご配付されております一般会計補正予算の事項別明細、ページでいいますと11ページをお開きいただきます。

歳入につきまして、町税の固定資産税3,500万円の増額ということでございますが、右12ページにありますように、土地分、家屋分並びに償却資産分ということで増額を見込むものでございます。

また、13款の国庫支出金におきまして民生費の国庫負担金、12ページでいいますと被用者児童手当の負担金の116万1,000円の減額、並びに被用者小学校第3学年終了前の特例給付金の負担金として225万4,000円の減額ということでございます。また、一つ目で下がりますが、衛生費の国庫負担金におきまして、12ページで国民健康保険基盤安定負担金が1,382万5,000円の減額となるものでございます。

次に、一番下になりますが、民生費国庫補助金に移りますが、これにおきまして障害児のデイサービス事業支援費補助金が147万7,000円の増額を見込むものでございます。次のページをお開きいただきたいと思います。14ページの2行目でございますが、児童環境づくり基盤整備費補助金として100万円の増額、それとすぐ下でございますが、浄化槽設置整備事業補助金ということで131万円の減額を見込むものでございます。それと、次のページに移りますが、衛生費、国民健康保険基盤安定負担金が1,521万円の増額となるものでございます。

次に、14款の県支出金に移ります。2目の民生費補助金、16ページでいきますとちょうど中段ぐらいでございますが、3節の児童福祉費補助金の一番下にあります一時保育充実支援事業補助金としまして158万4,000円の増額を見込むものでございます。また、衛生費補助金におきましては、この下でございますが、浄化槽設置整備事業補助金として498万8,000円の減額となるものであります。また、そのすぐ下になりますけれども、農林水産業費県補助金におきまして蚕糸園芸振興事業補助金が158万円の減額となるものでございます。

1枚めくっていただきます。17款の繰入金におきまして財政調整基金繰入金2,230万円、4目の公共施設整備等基金からの繰り入れでございますが、1,296万5,000円の減額とするものでございます。これにつきましては、保健センターの建設等で5,500万円近い減額が見込まれますが、小中学校に天井扇をつけるということで、約4,400万円ほどを見込んだために差し引きとして1,296万5,000円となるものでございます。

20款の町債費におきましては、ふるさと農道緊急整備事業債520万円が見込まれるものでございます。以上が歳入でございます。

歳出について申し上げますと、20ページをお開きいただきたいと思います。丸で三つ目になりますが、政策推進事業費ということで282万4,000円を計上してございますが、これを三角とし、次の下の丸になっております秘書事務事業ということでの組み替えをするものでございます。次のページに及んでそれが記載されております。

24ページをお開きいただきたいと思います。先ほども申し上げましたが、庁舎建設費におきまして、24ページの二つ目の丸でございますが、保健センターの建設事業におきまして5,496万5,000円の減額となるものでございます。これにつきましては、工事監理、設計業務委託並びに保健センターの建設工事等でございます。

次に、28ページをお願いいたします。28ページ、一つ目の丸ですが、一般経費の中で117万2,000円、これにつきましては県費の支出金清算返還金ということで、16年度事業を完了した結果、精査したことに基づいての返還金が生じたということでの支出でございます。次の丸の老人保健措置事業ですが、老人施設に入所した場合の措置委託料の不足ということで114万円を増額するものでございます。ちょうど中間になりますけれども、生活環境整備事業ということで、福祉タクシー使用料を100万8,000円を増額したいということで見込むものでございます。また、一番下の丸になります、居宅生活支援事業費ということで305万8,000円を増額を見込む内容となっております。これにつきましては、次ページ、30ページ、一番上になりますけれども、障害児デイサービス事業支援費扶助ということで295万6,000円ほどを増額しようとするものでございます。

次に、3款の民生費、2項1目の児童福祉総務費におきまして二つ目の丸になりますが、児童手当の支給事業ということで632万5,000円の減額となるものでございます。それぞれの内訳につきましては、ポチ印の被用者児童手当事業、非被用者児童手当事業、特例給付事業という内容で明細が計上してございます。次のページをお願いいたします。保育所費におきまして中央保育園管理運営事業費の104万円の減額、内容につきましては共済費並びに賃金というものでございます。また、南保育園の管理運営事業におきまして138万3,000円の減額でございますが、大きなものは賃金としまして123万4,000円の減額という内容でございます。すぐ下の丸になりますけれども、保育園保育の実施児童委託事業としまして1,000万円の減額ということでございますが、内容につきましては二つ下の保育園運営委託料、広域分ということでの見込まれる内容でございます。下から二つ目の丸になりますが、一時保育事業におきまして120万6,000円を増額を見込むものでございます。

次に、36ページをお開き願いたいと思います。4款衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費の36ページの二つ目の丸でございますが、国民健康保険特別会計繰出金としまして3,154万4,000円を増額するものでございます。その内訳につきましては、保険基盤安定制度繰出金、その他一般会計繰出金、財政安定化支援事業繰出金という三つによる構成でございます。1枚あけていただいて、38ページにあります、環境衛生費の生活環境改善事業としまして浄化槽設置整備事業補助金の284万8,000円の減額するものであります。

また、4款の衛生費におきましては、清掃費、清掃総務費におきまして一般廃棄物処理事業において945万6,000円の減額をしようとするものでございます。なお、内容につきましては、太田市外三町広域清掃組合の負担金の減額ということでございます。そのすぐ下になります、じん芥処理費におきまして一般廃棄物収集運搬事業の798万減額を見込むものでございます。これにつきまし

ては、収集等の委託料でございます。また、その下の3目の地域し尿処理費ということで113万円の増額でございますが、ポンプやバッテリー等の修理ということで計上するものでございます。

次の40ページをお開き願いたいと思います。農業振興費におきまして生産調整推進対策事業としまして315万3,000円を減額するものでございます。この中身につきましては、転作団地補助金あるいは転作達成推進補助金、加工米出荷奨励補助金等の減額ということで計上するものでございます。また、そのすぐ下におきまして数量調整円滑化推進事業ということで148万2,000円計上してありますが、これの事業内容の変更ということで計上し直すものでございます。一番下になりますけれども、農業土木費におきます小規模土地改良事業としまして170万円を増額するものでございます。

次のページをお願いいたします。商工総務費としまして太陽光発電システム導入促進事業ということで補助金を530万円増額するものでございます。

次のページをお願いいたします。44ページでございますが、道路維持補修ということで、小規模補修工事ということで300万円を計上するものであります。また、道路新設改良事業におきましては、町道整備1,000万円、物件移転補償としまして190万円計上する内容でございます。

8款の土木費、都市計画費、4目の公共下水道費におきまして431万8,000円の繰り出しを予定するものでございます。

次のページをお願いいたします。10款の一番下の方になりますが、教育費、2項小学校費、学校管理費におきまして、次のページになりますが、一つ目の丸のところで修繕料120万円を計上するものでございますが、これにつきましては事務局費の管理下における修繕費ということで計上する内容でございます。また、2目、すぐ下の教育振興費におきまして、教育振興事業におきます備品購入費で157万9,000円計上してございますが、長柄小学校におけるグランドピアノの購入を予定するものでございます。次のページをお願いいたします。学校建設費におきまして3,238万4,000円を計上してございますが、上の小学校施設整備事業としまして2,717万1,000円、これにつきましては各小学校への天井扇等を設置したいということでの計上でございます。また、その下の中野小学校施設整備事業でございますが、下水道宅内排水設備の工事、流域下水道の公共下水道本管の整備が中野小学校のそばまで来たということで、それにつながるための工事ということでございます。また、アスベスト対策工事としましては、中野小学校の階段室等におけるアスベストが含まれている材料があるということで、それに対応する工事でございます。

その下の中学校費、1目の学校管理費におきまして、丸二つ目のところでございますが、修繕料としまして140万円計上してございますが、これにつきましては邑楽中学校の消火栓等の修繕等を行うという内容が含まれております。

次のページをお願いいたします。学校建設費におきまして2,070万4,000円計上してありますが、先ほどの小学校と同様に中学校の施設整備事業としまして1,669万3,000円、これは天井扇を設置するための費用ということでございます。次に、邑楽中学校の施設整備事業ということで294万計上

してございますが、廊下のシートがめくれたりして大変危険な状態にあるということで、これらの張りかえ等が含まれた工事内容でございます。南中学校における整備事業で107万1,000円でございますが、国旗掲揚等をするポール等がさびて腐食しているということで危険な状態ですので、建てかえを予定する内容ということでございます。

次に、58ページをお願いいたします。6目の給食センター費のところで、給食センター管理運営事業としまして316万8,000円を計上してございますが、主なものは修繕料としまして276万8,000円、これは給水ポンプ制御盤等の工事をし直すということでの内容となっております。

一般会計につきましては、主立ったものを申し上げましたが、以上で説明にかえさせていただきます。

○中川健治議長 暫時休憩します。

〔午前11時05分 休憩〕

---

○中川健治議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

〔午前11時21分 再開〕

---

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

松島議員。

○2番 松島茂喜議員 歳出の部分でございますけれども、ページ数ですと50ページ並びに52ページになろうかと思えます。小学校並びに中学校の天井扇の関係なのですけれども、この天井扇につきましては、長柄小学校の耐震工事等が行われまして、それに伴って長柄小学校では既にその天井扇の設置が行われているということですが、ほかの小中学校もそれに伴ってやはり設置をしていくべきだということから、今回の予算計上に至ったのかどうかということも含めまして、これまでの協議を行ってきた経過を簡単に結構なのですけれども、説明をしていただきたいと思います。

○中川健治議長 川田教育長。

○川田定昭教育長 お答えをしたいと思います。

天井扇につきましては、教育委員会として子供たちの学力向上のための環境整備の一つとして、当初から考えておりました。3月の当初予算ということで町の方と折衝していたわけですが、財政上の問題とか、あるいは町長さんの方針等によって先送りをしたという経緯があります。たまたま長柄小学校の耐震の大規模改修の工事の中に将来的には入れるということで、一部の教室なのですけれども入れさせていただいた経緯があります。来年の夏に間に合せるということでは、3月の当初だとちょっと時期的に遅くなるということで、ぜひ工事がしやすい12月の補正でお願いしたいということで財政の方にもお願いをしてきましたので、それで今回、補正として上げさせていただいたわけでございます。

よろしくお願いいたしますと思います。以上です。

○中川健治議長 松島議員。

○2番 松島茂喜議員 ただいま教育長のご説明ですと、やはり私がさきに申し上げましたその長柄小学校の耐震工事に伴ってほかの学校もという考え方ではなくて、やはりそれ以前から教育委員会としても検討されてきたというような解釈でよろしいのか、確認の意味でお伺いいたします。

○中川健治議長 川田教育長。

○川田定昭教育長 そのとおりでございます。私の方としては、私が就任以来といいますか、そういう意味で環境整備の中の一つとして考えておりました。

以上です。

○中川健治議長 ほかに質問ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第92号 平成17年度邑楽町一般会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第92号は原案のとおり可決されました。

---

## ◎日程第12 議案第93号 平成17年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算

○中川健治議長 日程第12、議案第93号 平成17年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第93号 平成17年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,666万4,000円を追加し、予算の総額を23億1,025万3,000円といたしたい次第であります。

歳入については、療養給付費交付金、県支出金及び繰入金を増額し、国庫支出金を減額するもの



であります。歳出については、保険給付費及び諸支出金の増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第93号 平成17年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第93号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第13 議案第94号 平成17年度邑楽町老人保健特別会計補正予算

○中川健治議長 日程第13、議案第94号 平成17年度邑楽町老人保健特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第94号 平成17年度邑楽町老人保健特別会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4,512万7,000円を追加し、予算の総額を18億7,954万2,000円といたしたい次第であります。

歳入の主なものは、支払基金交付金、国庫支出金及び県支出金の増額であります。歳出については、医療諸費の増加であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第94号 平成17年度邑楽町老人保健特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第94号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第14 議案第95号 平成17年度邑楽町介護保険特別会計補正予算

○中川健治議長 日程第14、議案第95号 平成17年度邑楽町介護保険特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第95号 平成17年度邑楽町介護保険特別会計補正予算（第3号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ28万6,000円を追加し、予算の総額を10億4,903万9,000円といたしたい次第であります。

歳入については、国庫支出金及び繰入金の増額であります。歳出については、総務費の増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第95号 平成17年度邑楽町介護保険特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第95号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第15 議案第96号 平成17年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算

○中川健治議長 日程第15、議案第96号 平成17年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第96号 平成17年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算（第3号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ221万8,000円を追加し、予算の総額を5億9,057万2,000円といたしたい次第であります。

歳入については、一般会計繰入金の増額と町債の減額であります。歳出の主なものは、下水道総務費の工事請負費及び公課費の増額と負担金補助及び交付金並びに予備費の減額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第96号 平成17年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第96号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第16 議案第97号 平成17年度邑楽町水道事業会計補正予算

○中川健治議長 日程第16、議案第97号 平成17年度邑楽町水道事業会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

久保田町長。

○久保田文芳町長 議案第97号 平成17年度邑楽町水道事業会計補正予算（第3号）について、提案

理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、収益的収入において517万2,000円を増額し、支出においては52万2,000円を減額するものであります。また、資本的収入においては1,533万4,000円を増額し、支出につきましても4,622万2,000円を増額するものであります。

収益的収支の主なものは、加入金の増額と減価償却費及び高金利対策による借りかえに伴う支払利息の減額であります。また、資本的収支では負担金及び浄水場整備費の増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○中川健治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

千金楽議員。

○17番 千金楽幸作議員 ちょっとお伺いしておきたいのですが、この件については全協のときにも申しておるのですが、現在の邑楽町の水道供給、大変県水が年々ふえてきて大変厳しいものがあるわけですが、この第5水源の整備ということについては、見ようによれば将来にかけての備蓄というのですか、そういう面もあるかもしれないけれども、結果的には二重投資になるのではないか。

そういうことも含めて邑楽町の水道の現況を見れば、県下でも最大の料金を払っている、高い、そういうものが二つの県水と合わせて地下水と両方の施設を維持する、ここに邑楽町は安く供給ができない。

初め、随分、四、五年前ですか、この県水の減額をということで大変議論を沸かしたときがあるのですが、現在は県水と地下水の利用がフィフティー・フィフティーだと。しかしながら、あれは一時的な経過措置であって、2025年、これには日量最大1万4,500トンと、この契約の水量が入ってくるわけです。そうすると、今さら水道を掘って、将来にかけてというような考え方も必要かもしれないけれども、現在は最大で1万3,000トンぐらいしか日量出ていないのかなと。1本の井戸がなくなっても十分供給には間に合うのではないかと、この辺を考えて。もしこれをやるというのなら、もっと県水を減らす。邑楽町の適正な水道料金を維持するには地下水7割、県水3割、これだと一般に80円ぐらいで供給できるのかなと。

ところが、これが大半が県水に変わるということになると、今117円の供給がさらにアップをする。邑楽町は、水道料金と下水道料金がダブルになっているのです。だから、水道料金が高ければ下水道料金も高い。こういうことを考えたら、安易な設備投資というのですか、これ十分検討した上での積算で出してきたのだろうけれども、数量的には十分間に合うのではなからうかと、こんなふうにも考えているのですが、この辺についてお答えをいただきたいと思います。

○中川健治議長 石井水道課長。

○石井貞男水道課長 お答えいたします。

県水の受水に伴い第3浄水場で今回お願いをします第5水源の確保ということでございますけれども、第3浄水場及び中野浄水場につきましては、それぞれ現在3本の井戸を利用しておりまして、

能力的には1万2,526トンでございます。計画最大給水量につきましては、中野浄水場につきましては6,615トン、第3浄水場におきましては5,000トンの能力を持っておりまして、これに県水の受水を加えたものが日最大給水量でございます。

ご存じのとおり、県水の受水につきましては、当初契約におきましては1日最大受水量につきましては1万4,600トンでございましたが、前回全協でもお話を申し上げましたけれども、見直しが行われまして、将来的には2分の1になるということで今、計画で進んでいるところでございます。

したがって、今後県水の受水量が50%に削減されますと、自己水それから県水の最大給水量は1万8,915トンということになります。これまでの最大1日当たりの給水量が平成14年でございましたけれども、1万4,339トンでございました。これで差し引きをしますと4,500トンばかりの量が差し引きで残るわけでございますけれども、約24%の余裕を持つということになります。

しかしながら、この第5水源を確保しないということになりますと2,939トンということになります。約15.5%の余裕しかなくなるということで、ほかの井戸がもし故障等が発生したときには当然水が足りない、こんなふうな状況にもなってくるわけでございます。現在利根川の県水の受水を受けているわけですが、当然渇水等による給水制限も考えられるわけでございます。これから水を安定的に供給する場合におきましては、自己水と県水、特に現状の自己水は確保していく必要があるということから、今回お願いをするものでございます。

ぜひ、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○中川健治議長 千金楽議員。

○17番 千金楽幸作議員 今の水道課長のご説明でおおむね理解はできますが、一つだけ確認の意味でお聞きしておきたい。今将来的には県水を2分の1に削減すると、将来的と言いましたけれども、いつまでに2分の1にするのか、まずお伺いをしたいと思います。

○中川健治議長 石井水道課長。

○石井貞男水道課長 お答えいたします。

前回、この県水の受水につきましては、全協でもお話を申し上げた経過があるかと思っておりますけれども、これまでに8回の契約変更を行ってきております。前回の中でお話を申し上げましたとおり、2分の1というふうになることにつきましては、県企業管理者と町とで既に契約がされております。将来的と言いますが、これは平成27年度が最終年度でございまして、この年度になりますとこの2分の1になると、現在はもっと減らして供給をお願いをしたい、水道経営も苦しいということの中から、現在はそれ以下の数字でお願いをしているところでございます。

以上でございます。

○中川健治議長 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中川健治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第97号 平成17年度呂宋町水道事業会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔挙手全員〕

○中川健治議長 挙手全員。

よって、議案第97号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎散会の宣告

○中川健治議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

明日は、午前10時から会議を開き、一般質問を行います。

本日はこれにて散会いたします。

お疲れさまでした。

〔午前11時43分 散会〕